

# 山端 正己さんのページ

## 地域の文化活動として、「宗教美術研究会」を主宰！



平成18年12月中国 蘇州にて

「宗教美術研究会」とは可児市を活動の本拠とする地域文化団体で、可児市NPO協会のメンバーです。1992年に「仏像の見方」に関する郷土歴史館講座を契機に受講者の有志で発足しました。

私自身が参画した動機は、50歳くらいから定年後の人生を意識して社外の人たちとのお付き合いを積極的にやっていこうと、仕事に支障のない限り同窓会や地域の催しにもなるべく参加しようと努めていた時期でした。大阪での単身赴任生活中にも、例会日には帰宅して参加していました。

### 現在の立場

会の顧問として、講師、企画を中心にお世話しています。活動自体が低調になった時期に皆さんから幹事役を強く要請され、現役サラリーマンながら引き受けました。講師の先生が亡くなられた後は、自ら講師役を兼ねて現在に至っています。数人の方が役員（幹事）として手伝ってくれています。

### 活動の様子

会則で、

- (1) 宗教美術を中心に関連知識の学習
- (2) 宗教美術の鑑賞
- (3) 会員相互の研究発表
- (4) 会員相互の親睦を図るための集い活動
- (5) 地域と交流する活動

を専門的、学術的レベルを目指すのではなく、入門的・教養的レベルを前提に、楽しみながら学ぶと定めています。

具体的には、年間計画に基づき原則として毎月第3土曜日を例会日として、室内学習と屋外研修を半々に活動しています。（私自身が団地の自治会役員になったことからここ数年休んでいます）年1回は1泊研修で遠出をしています。室内学習はパソコン活用で映像による分かりやすい学習を、屋外研修は、いわゆる観光寺院より「知る人ぞ知る」というところを中心にして、関連する展覧会などを組み入れながら進めています。

### 今までに訪れたところ

岐阜・愛知・三重・静岡・滋賀・奈良・京都・大阪・兵庫・長野・福井の各府県に亘っています。日帰り圏の各地の寺社や博物館などを訪ねるほか、特に兵庫県へは、ツーリズムバス助成制度を利用して播磨、丹波、摂津と3度も1泊で訪れました。

### よかたこと

地域で同好の人たちと知り合い、一緒に勉強できたこと。人に教えることほど自分自身の勉強になることはありません。また、団体を通じて、「可児市文化団体ネットワーク」や「可児市NPO協会」の人たちとも知り合いになりました。

### 課題

後継者を見つけることですが、なかなか難しいのが実情です。

### 松寿会のみなさんへ

松寿会では大谷さんがメンバーだったこともあり、山村さんは現メンバーです。会員には多治見、各務原の方もおられますので、可児市内でなくても関心ある方は参加してみませんか。



学習風景



お寺で勉強



和尚さんからお堂の説明を拝聴



市内のお寺で



御嵩の願興寺にて



ミュージアムで学芸員から説明を



高月の渡岸寺にて



有馬の古刹にて